

# ENDURANCE RACING

## グリップヒーター HG/SP 取り付けについて JREM1530G1/G2

### 適合車種：GSX-8TT/T/S/R【EM1AA】

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な  
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

#### ●接続する前に（重要）

- ・本商品は**純正バーエンド装着車のみ**対応しております。  
バーエンドが純正と異なる場合には、別途バーエンド  
固定用のボルトが必要になる場合がありますので、  
その場合には量販店およびホームセンターなどで  
適切な長さのボルトをお買い求めください。
- ・セット内容に不備が無いかを確認してください。

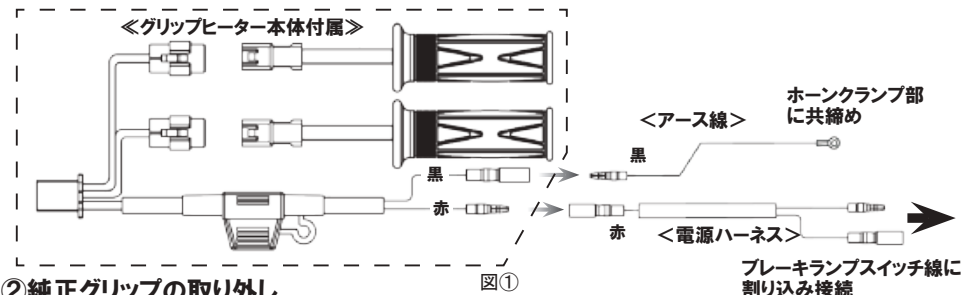
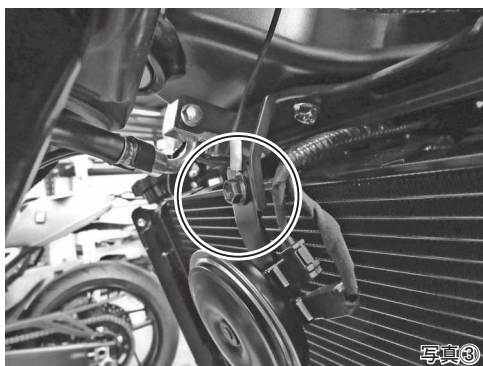
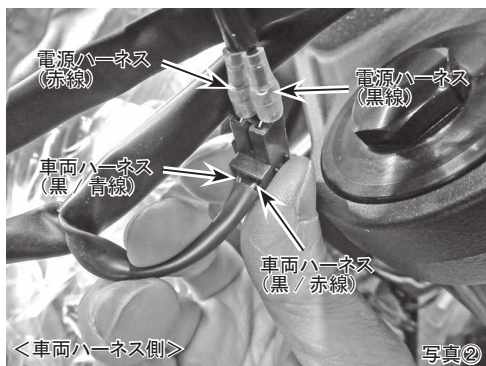
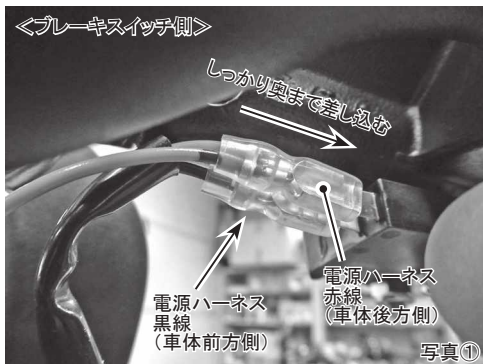
#### ●構成部品●

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・専用電源ハーネス・・・1本
- ・アース線・・・1本
- ・ワッシャー・・・1個  
（※SPのみ）

#### ①配線の接続について（図①）

付属している電源ハーネスを写真①、②を  
参考にしてブレーキランプスイッチ部に割り  
込ませるように接続します。  
ブレーキランプスイッチ部は車体前方側に黒線、  
車体後方側に赤線を接続し、ハーネス側は  
黒 / 青線に電源ハーネスの赤線、黒 / 赤線に  
電源ハーネスの黒線を接続します。  
アース線はホーンのクランプ部に共締めするよ  
うにします。このとき、アース部の塗装をヤスリや  
サンドペーパーで剥がしてから取り付けします。  
（写真③）

その後、左右グリップ、スイッチを仮接続して  
グリップヒーターの動作確認をしておきます。  
問題無ければ一度、グリップとスイッチを  
ハーネスから外します。



#### ②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着している  
ボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。  
右側グリップASSYはいったんハンドルクランプを取り外して、ハンドルを車体から取り外して、  
グリップからハンドルを抜き取るようにしてから取り外します。（写真④）  
※トラブルや故障の原因となりますので、絶対に無理やり取り外さないでください。  
このとき、専用スロットルパイプに交換しておきます。（写真⑤）



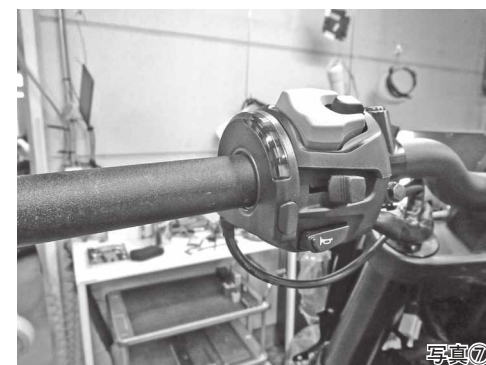
#### ③スイッチ部の取り付け

##### <HGの場合>

グリップヒーター本体に付属のブラケットを使用してハンドルに固定します。（写真⑥）  
→このとき、操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。その後、両面テープで制御スイッチ  
を固定します。

##### <SPの場合>

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し  
込んで固定します。  
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。



#### ④左右グリップの取り付け（参考例）

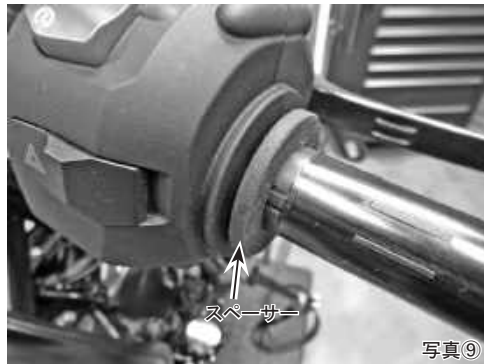
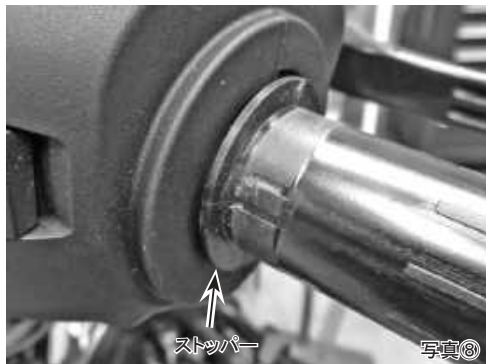
下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくとし込みやすくなります。

##### <<HGの場合>>

右側グリップヒーターが写真⑧のスロットルパイプのストッパー部に軽く接触するくらいまで差し込んでください。

##### <<SPの場合>>

先に、グリップヒーターに付属のスペーサーをスロットルパイプに差し込んでから右側グリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップとスロットルパイプのストッパーの間にあるスペーサーがそれぞれ軽く接触するくらいにしておきます。（写真⑨）



**注意** 左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。

##### ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対ししないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

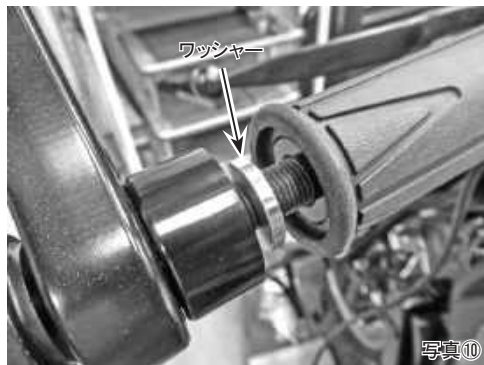
※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

##### <<SPの場合>>

左側グリップを取り付け後にバーエンドおよびバーエンドミラーを車体に取り付けする際には、付属のワッシャーを間に入れてから取り付けしてください。（写真⑩）

※スロットルが正常に作動するかの確認は必ず、バーエンドを取り付けした状態で行ってください。



#### ⑤配線のまとめ（参考例）

それぞれの取り付けが終わったら、右側グリップの配線は車両ハーネスに添うようにします。左側グリップ、スイッチの配線も同様に車両のハーネスに添うようにしてからグリップヒーターのハーネスに接続します。（写真⑪、⑫、⑬）

→また、配線の長さが余っている部分は別途、結束バンドなどを用意して頂き、まとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



#### ⑥取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにしてグリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、取り外したカウルなどを元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
endurance-parts.com